**FreeSpace IZA 2120-LZ integrated zone amplifier**

設計者とエンジニアのための仕様概要

2023年7月

本製品は、48 kHz/24ビットで動作するDSP回路を搭載した、D級ミキサー／アンプです。ミキサー／アンプにはスイッチング電源が採用されており、50/60 Hzで100～240 V（±10%）のAC電源で動作します。アンプにはIEC 320-C14電源インレットがあり、取り外し可能な電源コードが同梱されています。電源スイッチはフロントパネルに設けられています。製品は短絡や一般的な過熱に対する保護機能を備えています。サイズは、高さ1RU、幅1RUで、付属のアクセサリキットを使用してラックマウントが可能です。本製品は、ファン1台で連続的に左から右へ連続換気します。出力チャンネルには、それぞれ出力トリムコントロールが備わっています。

20 Hz〜20 kHz（+0/-3 dB）の周波数特性の出力が2チャンネルあり、チャンネルあたり4Ω負荷を120ワット、もしくは8Ω負荷を60ワットで駆動できます。THD+Nは定格出力時0.5%以下です。出力の接続は、2ピンのユーロブロックコネクターで行います。

次の性能仕様を満たしています（または仕様以上です）。チャンネル分離（クロストーク）-60dB以下(定格出力以下、1KHz)、およびダイナミックレンジ88 dB。ページング用に、3つのラインレベル入力（RCAステレオ × 2、3.5 mmステレオ × 1）、および1つのマイク入力を備えています。ラインレベル入力のうち2つは、フロントパネルのスイッチで選択可能ですが、3つ目の入力は、接続すると他の2つの入力より優先して出力されます。入力レベルは、ラインレベル入力の場合は0 dBV、マイク入力の場合は-40 dBVです。マイク入力はリアパネルに取り付けられており、PTTスイッチを備えたダイナミックマイクと、電話ページングシステムに対応します。マイク入力は、リアパネルのセレクターでマスターボリュームをバイパスすることができます。フロントパネルの3.5 mm優先入力端子を除き、すべての入力に独立した入力ゲインコントロールがあります。3つのLEDインジケーターがフロントパネルにあり、1つ（青色）は電源／スタンバイ表示用、2つ目（赤色）は入力レベル用（9 dBV以上）、3つ目（赤色）は出力レベル用（-2 dBFS以上）です。2つのRCA端子のAUXライン出力を備えています。DSPは、任意で選択可能なスピーカープリセット（Flat、FreeSpace FS2C/SE/P、FS4CE/SE、DesignMax DM2C-LP/S、DM3C/SE）を備えており、スピーカー出力と（セレクター経由で）AUX出力に適用させることができます。フロントパネルには、高音域、低音域の調節ボリュームおよびマスターレベルボリュームを備えています。Bose Professional製のA/B切替機能付ボリュームコントローラー、またはサードパーティ製の切替スイッチ／10 kΩリニアテーパーポテンショメーターを備えた外部コントローラーでリモート操作するためのREMOTE入力を備えています。外部のドライ接点と使用することで、アンプおよびAUX出力をミュートするMUTE接点を装備しています。リアパネルには、ステレオまたはモノソース使用時に、アンプ出力およびAUXラインレベル出力を最適化するステレオ／モノ切替スイッチを備えています。

本体ケースは塗装鋼板です。483 mmのEIA規格のラックへのマウントが可能です。高さ44 mm、幅483 mm、奥行き324mmです。重量は4.1 kgです。

正式名称は、FreeSpace IZA 2120-LZ integrated zone amplifierです。